

輸出事業計画

※申請者名：はかた地どり輸出促進コンソーシアム

品目：鶏肉（はかた地どり）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 福栄組合では、平成27年から正肉や手羽等を香港に輸出。
- 香港において「はかた地どり」は「日本産の高品質な鶏肉」という位置づけであり、主に料理店や量販店で提供。香港の新華日本食品有限公司（輸入業者）が代理店となり、現地で販路を開拓。

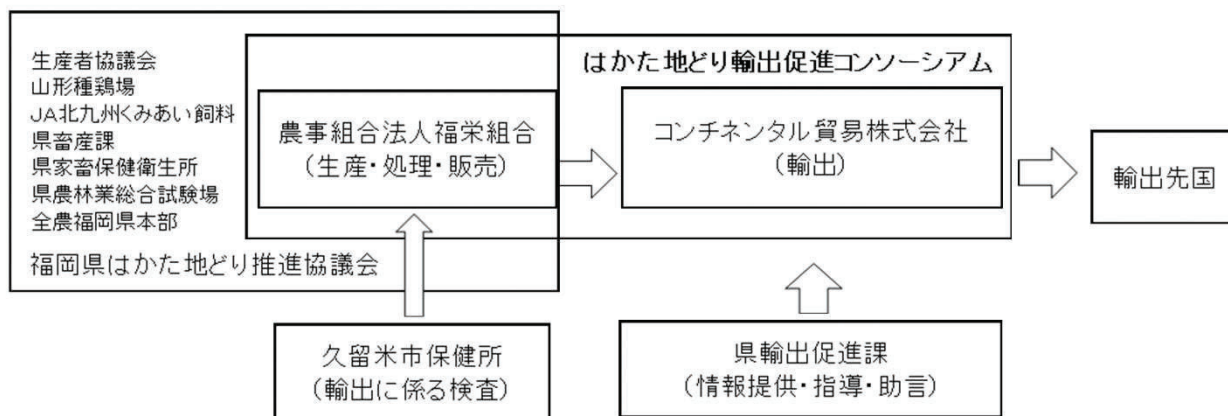
【課題】

- 現在、香港に1キログラム単位の包装で輸出しているが、現地の輸入業者を通じ、納品数量を拡大する為には、コンシューマーパック（業務用でなく、深絞り機でアウトパックで製造し、家庭で消費しやすいように1枚単位での製造）や加工品を取り扱うよう要望が上がっている。
- 今後、輸出量が増加することが見込まれ、輸出時に保健所が検査証明書発行立合検査を行う部屋が手狭になる見込み。
- 現在は香港への輸出のみであり、輸出拡大には輸出先国を増やす必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

- 現在の施設では少量包装（コンシューマーパック）はできないため、令和4年10月に、対応できる包装機を導入予定。また、現地から要望がある加工品を製造できるよう、令和5年4月に、加工機器を導入予定。
- 輸出時に保健所が検査証明書発行立合検査を行う部屋を令和3年8月に改修。
- 香港以外への輸出拡大のため、現在、ベトナム輸出のための施設認定手続きを実施中

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

香 港	令和2年（現状）	25,847,260円	令和5年（目標）	34,503,000円
ベトナム	令和2年（現状）	なし	令和5年（目標）	2,670,000円